

味噌づくり教室

毎年好評の味噌づくりは、1月21日と30日2回に分けて実施し述べ30名の方が手作りの愛情こもった味噌づくりに挑戦しました。

地元農産物の加工販売や商品開発などを手掛ける「ふきのとうの会」(小村宣子代表:米子市石井)のメンバーの指導で、蒸した米に麴を混ぜて発酵させたものに、やわらかく煮た国産大豆と塩を混ぜ、ミンチ状にして密閉容器に入れ、各家庭に持ち帰りました。涼しい場所で保管し、9月ごろにはおいしい味噌が出来上がります。



凧づくり教室

2月14日(土)開催の“昔あそびの会”では主任児童委員と民生児童委員の皆さんの指導で、ぐにゃぐにゃにや凧を作りました。

たこの形に切ったビニールに自分の好きな絵を描き竹ひごをつけて世界にひとつだけのオリジナル凧が出来上がりました。

＝昔あそびの会＝



社会福祉協議会代議員研修

2月19日(木)社会福祉協議会代議員研修会を行いました。長寿社会課、包括支援センターから来ていただき高齢者疑似体験・車椅子体験をしました。

二人で高齢者と介護者の役になり、高齢者の気持ちを体験するだけでなく補助する側の気持ちも体験し、急がせずゆっくり安全に誘導すること、支えあう気持ちが大切であることを学びました。



福米東小学校のコーナー

福米東小学校からのお知らせ

吹く風に少しずつ春の気配を感じる今日この頃です。いよいよ3月、本年度の最後の月を迎えました。それぞれの学年で、最後のまともに一生懸命取り組んでいます。次のステップに自信をもって進んでいくことができるよう、一日一日、そして一時間一時間を大切にしていきたいと思ひます。

地域の皆様には、この1年間、本校教育の推進につきまして、いろいろとご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。来年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

新一年生体験入学

2月6日(金)に学校入学説明会を行いました。1年生は「新1年生のお世話をするぞ!」とやる気満々でした。しかし実際に一緒に遊び始めるとたいへんなことがたくさん。お母さんと離れたくなくて泣いているのをなぐさめたり、遊びに飽きていろいろなところに行ってしまう新1年生を追いかけたり、トイレと一緒にいっていったりと1年生にとってはたいへんな1時間だったようです。でも最後まで投げ出すことなく責任をもった行動がとれた1年生でした。

その後5年生とバトンタッチ。さすがに来年度きょうだい学年になる5年生は新1年生のお世話も上手でした。元気いっぱい91名の新1年生でした。



感謝の気持ちを伝えた児童集会

1月28日(水)に日頃お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを伝えようと、児童会主催の「お世話になった人に感謝の気持ちを伝えよう集会(感謝集会)」を行いました。寒い中「ゆうあいの郷・野菜作り名人」「福米東子どもを守る会」「交通安全えがおの会」「おやじの会」「交通安全協会・指導員」「スマイルママ」「学校給食関係者」等25名の方が参加してくださいました。

それぞれの学級・学年が、お世話になっている方々に、自分たちの感謝の気持ちを聞いていただいたり、感謝の手紙やプレゼントを手渡したりしました。お客様からも「子どもたちを守るのは大人のつとめです。私たちはみんなから元気をもらっています。これからももっともったよい学校にしていきたいと思います。」とたいへんありがたいお言葉をいただきました。感謝の気持ちのこもった、心が温まるすてきな集会でした。福米東小学校の子どもたちは、地域の方からいつも温かい支援を受けて学校生活を送っていることを、この集会を通して改めて感じました。感謝の気持ちがいっぱいです。



福米中学校のコーナー

1月24日に東京の文部科学省で全国いじめ問題子供サミットが開催され、生徒会長の三國花蓮さんが福米中学校の取り組みを鳥取県の代表として発表しました。全国でわずか7校の中に入り堂々と発表しました。また、小グループの話し合いでも他県の代表の中で自分の意見を発表していました。

このサミットのまとめの中に、福米中学校の生徒会が発表した「傍観者にならない」が取り上げられました。

全国に、生徒会のスローガンとそれに向けてのさまざまな取り組みや、ネットのルール7カ条などを発信しました。そして、大きく評価されました。さらに今後も継続して取り組んでくれると期待しています。



福米中学校区は、小中一貫教育に積極的に取り組んでおり、小学生の代表と中学生の代表が集まり、2月12日に第2回小中合同リーダー研修を行いました。前回のリーダー研修で話し合ったことを各学校に持ち帰り、具体的に小中合同で何ができるのかを話し合ってきたことを発表しました。そして、小グループになり小学生と中学生と一緒に話し合いました。小中連携はあいさつ運動できているけれど、小小連携が課題ではないかという意見も出されました。このリーダー研修で、小中合同あいさつ運動を継続していくことやあいさつ運動だけではなく登下校中に出会ったらお互いにあいさつをしていくことも大切ではないかということになりました。来年度は小中で一緒に地域でボランティア活動を行うことも決まりました。これからも小中一貫の取り組みでどのようなことができているのか楽しみです。

